



# 2020 年度事業報告書 **ボラみみ**

特定非営利活動法人ボラみみより情報局

2019 年 10 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日まで

## 1 事業実施の方針

特定非営利活動法人ボラみみより情報局は、「理念・社会的役割」を達成するために、2020 年度は「定款 第 5 条」の事業を実施した。

理念・社会的役割

「つなぎ」 ボランティアをしたい人と必要としている人々をつなぎます。

「ひろげ」 ボランティア・NPO 活動への理解と参画をひろげます。

「きづく」 自らの問題解決に取り組む地域社会をきずきます。

定款 第 5 条

- (1) ボランティア情報提供のための情報誌の編集および発行事業
- (2) ボランティア情報提供のためのホームページの編集および運営事業
- (3) ボランティアに関する調査研究および公開事業
- (4) 収集したボランティア情報の公開および提供事業
- (5) ボランティア活動の普及啓発事業
- (6) ボランティア情報の提供、ボランティア団体の広報などに関する支援事業
- (7) 子どもの健全育成に関する支援、およびボランティア育成事業
- (8) 災害救援に関する支援、およびボランティア育成事業
- (9) 環境の保全に関する支援、およびボランティアの育成事業
- (10) 保健、医療又は福祉に関する支援、およびボランティアの育成事業

## 2 重点項目

ボラみみより情報局は、下記 4 つの項目を重点的事業と位置づけて実施した。

### (1) 財政再建

「3 運営に関する事項」> (3) 組織基盤>①「財政再建」参照

### (2) これからの 20 年を考える会

「3 運営に関する事項」> (2) 会議に関する事項>③「これからの 20 年を考える会」参照

### (3) キャンペーンの実施

「3 運営に関する事項」> (3) 組織基盤>②「キャンペーン企画の実施」参照

### (4) 「なごやのボランティア史（仮称）」販売促進

「5 事業の実施に関する事項」> (3) ボランティアに関する調査研究および公開事業



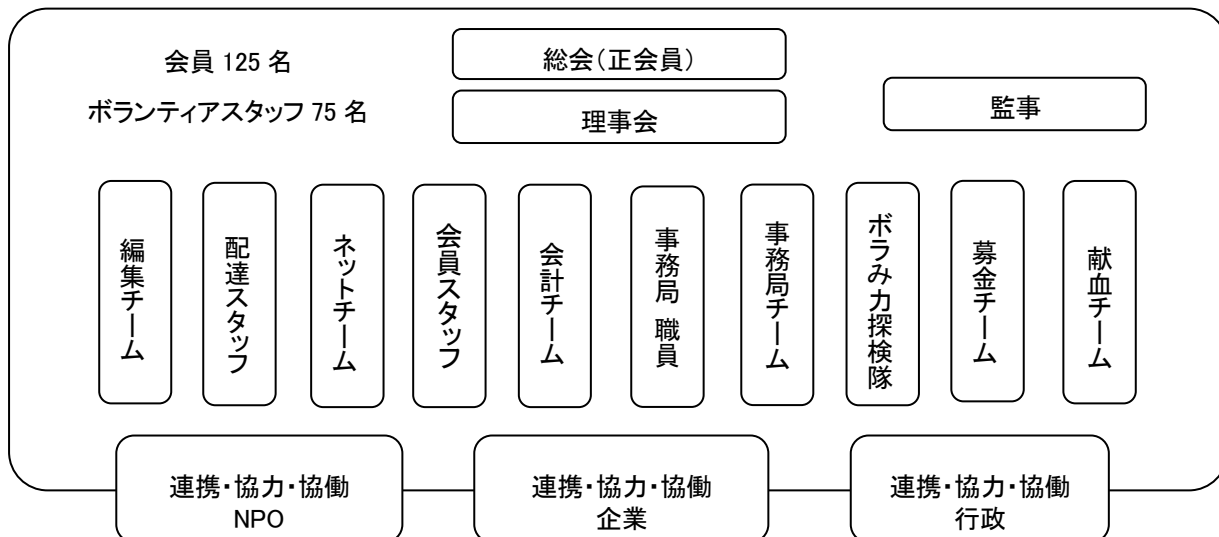


>①なごやのボランティア史（仮称）編纂事業」参照

### 3 運営に関する事項

#### (1) 組織体制

事業を実行するにあたり、ボランティアスタッフが力を最大限に発揮できるよう、ボランティアの募集を行った。2020年度のボランティアスタッフ数は75名で、昨年より活動者を2名増やすことができた。



#### (2) チーム報告

大学生から70代までさまざまな年齢層のボランティアスタッフが活躍していることが、ボラみみの特徴である。『ボラみみ』の編集や発送・配達、ボランティアマッチングサイト「みみライン」の管理・運営、会計事務まで、どの活動もボランティアスタッフなしでは成り立たない。

今期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、集まって作業することが難しい時期もあったが、換気やマスクの着用などを徹底し、作業することができた。すべてのボランティアスタッフを紹介することはできないが、ボランティアスタッフの活躍をチームごとに紹介する。

##### ① 編集チーム

冊子『ボラみみ』は、後述もしますが、今年度大きくリニューアルして、誌面を全面カラー化し発行月を隔月に変更しました。カラー化は昨年度の20周年記念号で経験済みだったので、カラー化自体は、それほど大きな混乱もなくできたのかなど。今年度はやはり、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、編集会議が開けない、取材に行けない、そもそもボランティア情報が集まらないといった面で苦勞しました。それでも、メールや電話で取材をしたり、新しい特集記事の企画を考えたり、チームのメンバーで工夫しながら誌面づくりに取り組みました。(小野地)

『ボラみみ』に掲載する記事の校正を、引き続きいくつか担当させていただきました。様々な記事に出合って新しいボランティアの世界を知ることとはとても楽しく、それを皆さんに伝えるお手伝





いをするにやりがいを感じています。私自身、20年前に『ボラみみ』のある記事を読んでボランティアの世界に一步を踏み出した一人なので、「情報を伝えること」の大切さをかみしめながら校正しています。(牧)

## ②配達スタッフ

配達スタッフを始めた時はモノクロ印刷でしたが、今年から誌面がフルカラーになり喜ばしい反面、配布先へのお届けが各月になり寂しい気持ちもあります。『ボラみみ』制作に参画いただいている情報主・企業様・会員様のお気持ちを読者・設置いただける方々に届けられるよう、つなぐ活動に熱意を持って取り組んでいます。コロナ禍ではありますが、これからも笑顔でお届けいたしますので、事務局へのご要望があればお声かけ頂けると有難いです。(野口)

## ③ネットチーム

月1回の定例会を行なっています。メンバー間の交流の場も兼ねており、いつも楽しい雰囲気です。今年は新型コロナウイルス対策の3密を避け、リモート会議を行いました。また、「迷惑メールが月2万通も届き、その削除に多くの時間を割いている」との報告をうけ迷惑メール防止対策をしました。毎月の作業は特集記事をホームページへ up する事ですがなかなか進まなかったのが実情です。そして、スマートフォンやSNSに対応できる若い人材不足も今後の課題のひとつです。

(岸本)

ホームページの話題だけではなく、様々な話題について話しています。今年に入ってから、新型コロナウイルスの感染拡大もあり4月のネットチームの会議は中止としましたが、5月にはオンライン会議ができるようにMicrosoftのteamsを導入して実施しました。(おだ)

## ④会計チーム

今年も、日々の経費伝票を会計ソフトを使用して種目別項目別に入力し、そのデータから月別収支表の作成と集計し、そのデータを元に会計処理を行い、決算書の作成をしました。それぞれの作業は、メンバーが分担して行っています。残念ながら、日ごろ全員が揃うことはほとんどありませんが、時には作業の進み具合をSMSなどで連絡し合い、意思の疎通を図っています。今年はコロナの影響で多くの活動(講師派遣など)が中止などを余儀なくされる中、会計処理の迅速さ、正確性を念頭にボラみみの経費の健全性を日々チェックする裏方として頑張っています。(小倉)

## ⑤会員スタッフ

会員事務として、次のような仕事を受け持っています。

- ・会員の登録(新規・更新)の情報をデータベースに入力
- ・2ヶ月に1回、会員あてにボランティア情報誌『ボラみみ』等を発送するための下準備(あて名ラベル・更新案内・会員登録お礼状作成など)
- ・4ヶ月に1回、ニュースレター「みみ通信」の印刷・紙折作業





仕事の内容としては、ルーチンな作業が主ですが、会員の皆さんとボラみみとの関係が円滑に進むことを心がけて仕事をしています。(島崎)

ボラみみの活動や事務所での出来事を皆さんにお伝えするニュースレター「みみ通信」の作成を担当しています。モットーは「見やすく、読みやすく」、そして「4コマみみ劇場」は「ほっこりおもしろく」です。原稿が届いたら、間違いがないように気を付けながらも、迅速に作業することを心がけています。皆さん、読んでくださいね！(冨田)

会員の方に定期的にお届けしているニュースレター「みみ通信」の校正を引き続き担当させていただきました。『ボラみみ』誌面に合わせて年3回の発行になりましたが、内容は変わらず、ボラみみの活動やボランティアスタッフの様子が伝わってくるもので、ボラみみを身近に感じられる媒体だと感じています。「みみ通信」にかかわり始めて早20年？この「ボラみみの想いを伝えるお手伝い」が、私なりのボランティア活動です。(牧)



## ⑥事務局チーム

当チームはイオンの黄色いレシートキャンペーンや校正・発送作業など幅広い作業をしています。「みみライン」へのボランティアやイベント情報の掲載を各団体へメールやFAXで依頼し、投稿されてきた各情報を「みみライン」に掲載していかどうか、さらに、その掲載情報に不足や訂正がないかのチェックは、随時行っています。残念ながら、今年はコロナの影響で活動を自粛されているところなどもあり、「みみライン」への投稿件数が例年に比べて少なくなっています。仕方がないとはいえ、寂しい限りです。また、掲載後のアンケートをお願いし、より良い「みみライン」にするための参考にさせていただいています。アンケートにお答えいただいた方の意見をより広く皆さまに伝えたいと思っています。(小倉)

## ⑦ボラみみ力探検隊

コロナ禍でほとんど活動できない、そんな時期だからこそ少し探検隊の活動を振り返ってみたいと思います。ボラみみの内部の活性化を目指すというのが探検隊の目的でした。ただ、活性化とは何ぞやという根本的な問いについては特に定義していませんでした。ある意味で、ゆるやかに活動していた気がします。根本的に問うとは、換言すると立ち止まって考えることではないでしょうか。マスコミの情報や「いいね」の数に流されそうな時代にこそ「それって本当？」と、問うてみる必要があると思います。イベントが開催されるようになったら、ゆるやかさも大事にしながら活動を再開したいと思います。(宇都宮)





## ⑧募金チーム

『ボラみみ』を発行し、無料で配布するためには1号あたり70万円弱の費用が必要です。広告収入だけでは捻出できないので、他の収入源を開拓するために募金チームは結成されました。現在、『ボラみみ』の配布先など43ヶ所に募金箱を置かせています。1箱の過去最高額は14,586円、募金箱設置に取り組み始めた2014年からこれまでに累計で490,324円の募金が集まりました。

募金の回収方法は空箱との交換。年2回の回収に協力していただける方はお申し出ください。また、新しく募金箱を置いてくれるところがあれば教えてください。募金の集計などの事務作業もありますので、一緒に活動してくれる方大歓迎です。(岩尾)

## ⑨献血チーム

まずは2019年10月から2020年9月までの活動参加者数ですが、私を含めて合計17名でした。例年10月と4月は参加者が私以外にいない日もあり、たった一人で呼びかけ活動をしていました。さらに今年4月は新型コロナ蔓延防止の観点から、他のイベントが中止されたことも影響し、参加希望者もいなかったため、初めて呼びかけ活動を中止にしました。6月以降は、それまで土日祝日に実施していた活動を、献血ルームからの要請で平日の活動へと変更しました。



平日の参加希望者がいるか心配していましたが、それでも私以外に6月には3名、8月には2名の方に参加していただいたことは幸いでした。(大森)

## (3) 会議に関する事項

### ①総会

開催日時：2019年11月30日(土)13時30分～14時15分

開催場所：名古屋市民活動推進センター 集会室

(名古屋市中区栄3丁目18番1号 ナディアパーク デザインセンタービル6階)

- 議 題：1) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2019年度事業報告の承認  
2) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2019年度活動計算書、貸借対照表、財産目録の承認  
3) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2020年度事業計画の承認  
4) 特定非営利活動法人ボラみみより情報局2020年度活動予算書の承認  
5) その他

### ②理事会





目的：開かれた運営を行うため、団体としての意思決定・判断の経緯と根拠を開示した。

対象：理事、会員、スタッフ

実施内容：理事会の開催

実施時期：毎月1回（11月を除く毎月）

担当：理事、事務局

開催日	報告内容・決定事項
2019年10月29日(火) (第179回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会、その他 (2)協議事項：総会、新任理事の推薦、2019年度事業報告書(案)・決算書(案)・2020年度事業計画書(案)・予算書(案)の確認、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他
2019年12月10日(火) (第180回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会、その他 (2)協議事項：2020年度理事会体制、総会資料提出、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他の報告
2020年2月4日(火) (第181回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会、その他 (2)協議事項：財政、事業計画の重点項目、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他
2020年2月25日(火) (第182回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項：財政、事業計画の重点項目、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他
2020年3月31日(火) (第183回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項：財政、事業計画の重点項目、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他
2020年4月28日(火)	新型コロナウイルスの影響で中止
2020年5月26日(火) (第184回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項：財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他
2020年6月30日(火) (第185回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項：財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他
2020年7月28日(火) (第186回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項：財政、事業計画の重点項目、チーム担当理事、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他
2020年8月25日(火) (第187回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項：財政、総会・総会イベント・アワード、事業計画の重点項目、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他
2020年9月29日(火) (第188回)	(1)承認事項：正会員・賛助会員の入退会、活動会員の入退会 (2)協議事項：財政、総会、事業計画の重点項目、その他 (3)報告事項：事業・事務局、各チーム、その他

### ③これからの20年を考える会【重点項目(2)】

目的：中長期のビジョンと中長期計画作成を目的とする

対象：理事、会員、スタッフ、事務局

実施内容：これまでボラみみが行ってきた活動と社会情勢をふりかえり、次の20年間の活動をどのように展開していくかを考えるため、2回実施した。9月26日は、新型コロナウイルスの感染対策のためオンライン開催した。





実施時期：2019年10月～2020年9月

担 当：理事、事務局

実施日時	実施内容
2019年10月17日(木)	これからの20年を考える会 打合せ
2019年11月27日(水)	これからの20年を考える会 打合せ
2019年11月30日(土)	第4回これからの20年を考える会
2020年9月26日(土)	第5回これからの20年を考える会

#### (4) 組織基盤

##### ①財政再建【重点項目(1)】

目 的：活動を継続可能なものとするため財政を立て直す。

内 容：1)『ボラみみ』を5・6月号よりカラー化し、隔月発行にすることで、編集・印刷・発送コストを削減した。

2)入居する事務所にハンガーゼロ(一般財団法人 日本国際飢餓対策機構)が同居したことで、4月より地代家賃と水道光熱費のコストを削減した。

3)既存事業で価格交渉を行い、2事業で収入増となった。

4)物資寄贈事業で今年度はマスク寄贈を行い収入増となった。

5)ウェブサイトの改修事業を進めてきたが来期の収入となる。

6)新規の委託事業を2団体のNPOと協働で受託したが、来期の収入となる。

上記の財政再建策を実施したが、新型コロナウイルスの影響で、既存の事業が延期となり、来期の収入となることや、講師派遣やアドバイザー派遣が一部中止や延期となった。

実施時期：2019年10月～2020年9月

担 当：理事会、事務局

##### ②キャンペーンの実施【重点項目(3)】

対 象：ボランティアに関心のある市民、会員、ボランティアスタッフ

実施内容：月替わりでキャンペーンを実施した。スタッフMLやブログ、SNSでの呼びかけ、『ボラみみ』誌面にキャンペーン広告を掲載した。

評 価：11月～12月「ボラみみの会員になろう！」キャンペーン：昨年と比較して増減なし。

1月～2月「みみちゃんお届け便」寄付キャンペーン：期間中に寄付はなかった。

4月「黄色いレシートに参加しよう！」キャンペーン：2店舗合わせて89,400円の寄付をいただいた。

5月東海ろうきん「NPO寄付システム」登録促進キャンペーン：期間中に新規登録はなかった。





6月「みみラインにボランティア登録しよう！」キャンペーン：この時期に予定されていたボランティアのマッチングイベントは中止となり、キャンペーン活動を実施できなかった。

7月「ボラみみ」寄付キャンペーン：期間中に23,000円の寄付があった。

8月「ボラみみ配布先・募金箱設置店募集」キャンペーン：配布先も募金箱の設置先も期間中に増減はなかった。

9月「みみラインにボランティア求人情報を投稿しよう！」キャンペーン：新規投稿を増やすため、『ボラみみ』以外の媒体にボランティア募集を載せている団体・施設にメールやFAXで案内を送る準備をした。

担 当：理事会、事務局、ボランティアチーム

### ③正会員、賛助会員、ボランティアスタッフの増加

対 象：ボランティアに関心のある市民

実施内容：キャンペーンの実施。チームごとでボランティアスタッフの募集を実施。

実施時期：2019年10月～2020年9月

評 価：正会員は61名から56名へ、賛助会員は73名から69名へ減少した。

ボランティアスタッフは73名から75名へ増加した。

担 当：理事会、事務局、各チーム

## (5) 広報活動

### ①インターネットを使った広報

対 象：愛知県、岐阜県、三重県のボランティア、市民活動に関心のある市民

実施内容：1)「ボラみみ.com」の運営【更新】5回/年

毎月1回ネットチーム会議を開催し、情報配信などについて話し合いを行った。

新型コロナウイルスの影響で4月は中止したが、5月からはteamsを使いオンラインで会議を実施した。

2)「ボラみみブログ」編集・運営

【更新】41回/年（前年度97回）

【総訪問者数】14,166件（前年度：年間13,230件）

3) Facebookの運営【投稿】107回/年

【リーチ数】29,693件

【エンゲージメント数※】6,574回 ※投稿へのリアクションやシェアされた回数。

主に『ボラみみ』を手にとってもらうこと、ボラみみ主催のイベントやプログラムの広報を目的に、イベント・プログラム告知、『なごやボランティア物語』のPR、ブログ更新情報をはじめとする日々の活動を投稿した。「これからの20年を考える会」のイベントページも作成し、広報に活用、そのページから参加







申込みがあった。

4) Twitter の運営【ツイート数】 517 回/年

【インプレッション数※】 177, 671 回

【エンゲージメント数※】 5, 182 回

※インプレッションはツイートをユーザーが見た回数、エンゲージメントはツイートにユーザーが反応した回数で、ツイートのクリックやリツイートなどの合計数。

主に、「みみライン」やブログを見てもらうことを目的に発信している。「みみライン」に新規情報が公開されるたびに自動でツイートされるよう、みみラインシステム担当者が設定している。ブログも更新するたびにツイートしているため、ブログや Facebook よりも更新回数、閲覧数が多くなっている。

5) gooddo(グッドウ)の運営

「gooddo(グッドウ)」のボラみみページから買い物ページへ進むことで、購入額の 0.5%が寄付される仕組みだが、支援金額が振込手数料を下回る場合は、支援金 0 円として相殺される。2020 年度の支援額は 0 円。

実施時期：2019 年 10 月～2020 年 9 月の随時

担 当：ネットチーム、システム担当ボランティア、インターン、理事、事務局

評 価：ブログに関しては、インターンの受け入れがなく、記事を更新するのが事務局だけになったこと、告知するイベントなどが減ったことで、更新回数は前年の半分以下になってしまった。しかし、アクセス数は前年度より増加し、目標の 12,000 件を超えることができた。ブログを更新する度に SNS でも PR したことで、アクセスが増えたと考えられる。これからもボラみみの活動に参加してくれる人、応援してくれる人を増やすことを目的に、ブログや SNS で積極的に活動紹介を行っていく。

## ②紙媒体を使った広報

### ニュースレター「みみ通信」編集・発行

対 象：会員、ボランティアスタッフ、『ボラみみ』配布協力先

実施内容：当団体の広報、活動紹介、会計報告をすることを目的とし発行した。

実施時期：2019 年 10 月、2020 年 1 月、4 月、7 月に発行

仕 様：B5 判・モノクロ 1 月・4 月号は 8 ページ、7 月号は 6 ページ

各号 900 部（前年度実績 1,000 部）

担 当：会員担当、事務局、各チーム

号数	掲載内容
1 月号 (Vol.74)	・活動報告(総会報告) ・理事の紹介 ・活動報告(第 3 回・4 回 これからの 20 年を考える会/「ボランティア史」経過報告/デンソーハートフルまつり/ワールド・コラボ・フェスタ 2019) ・インターン紹介 ・寄付報告 ・スタッフコラム ・スタッフインタビュー ・チーム報告(2019 年 9 月～11 月) ・会計報告 ・理事会報告 ・代表の“ちよつと言いたい” ・事務局日誌 ・4 コマ みみ劇場





4月号 (Vol.75)	・報告(『なごやボランティア物語』編纂事業報告)・活動報告とお知らせ(『ボラみみ』カラー化と隔月発行&「みみ通信」の発行回数変更について/みみラインのシステム提供&サーバ移転/ボランティア活動の促進協働会議/名古屋市イーパーツリユースPC寄贈プログラム&みみちゃんお届け便/スマイルゆうネット(情報提供&公開作業)/アドバイザー事業)・活動報告(愛知淑徳大学コラボメッセ/ファーストキフ)・スタッフコラム・スタッフインタビュー・チーム報告(2019年12月~2020年2月)・会計報告・理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4コマみみ劇場
7月号 (Vol.76)	・活動報告(『なごやボランティア物語』ついに完成!)・活動報告(みみちゃんお届け便)・寄付報告(ファーストキフ&ポスターコンテスト/幸せの黄色いレシートキャンペーン)・活動報告(なごやボランティア楽集会/新型コロナウイルスのボラみみへの影響)・会計報告・理事会報告・代表の“ちょっと言いたい”・事務局日誌・4コマみみ劇場

評 価：『ボラみみ』が隔月発行になったことで、「みみ通信」の発行月も年4回(1月・4月・7月・10月)から年3回(3月・7月・11月)に変更となった。  
事業の進捗や結果だけではなく、新型コロナウイルスの影響による変化など、団体の活動を伝えることができた。

### リーフレットの配布

対 象：会員、ボランティアスタッフ、関係協力機関、ボランティアに関心のある市民  
実施内容：みみライン個人向けリーフレット、みみライン団体向けリーフレット、募金箱用リーフレット、ボラみみ事業活動紹介チラシ、これからの20年を考える会チラシなどの配布など  
実施時期：随時  
担 当：会計チーム、編集チーム、ネットチーム、ボラみみ力探検隊、献血チーム、募金チーム、事務局チーム、配達ボランティア、理事、事務局  
評 価：新型コロナウイルスの影響でイベントや講座が中止となり、リーフレット類を配布する機会が減少した。

## (6) その他

### ①募金箱の設置(自主事業)

対 象：配布先および商店、施設など  
実施内容：募金箱設置の依頼、資金回収を実施した。  
担 当：事務局チーム、配達スタッフ、事務局、理事  
設置箇所：43か所(9月30日現在)(昨年度47か所)  
募 金 額：2019年 87,607円(前年度は集計入金が決算に間に合わなかった)  
2020年 61,234円  
評 価：新たな設置先も1箇所増えたものの、閉店のため募金箱設置停止の申し出があった店舗のほか、回収に伺うと募金箱を紛失していたところもあり、設置数は減少した。「募金チーム」のメンバーがいない状態が続いており、2020年度は43箇所中29箇所の回収しかできなかった。春と秋の年2回の回収と報告を確実にを行い、さらに、新規設置先を増やすためには、まずはチームの立て直しをしないとイケない。





## ②幸せの黄色いレシートキャンペーン

対 象：会員、ボランティアスタッフ、イオン来店客

実施内容：毎月 11 日のキャンペーンに合わせて、スタッフ ML、Facebook で黄色いレシート投函のお願いを発信。2019 年 10 月から 2020 年 2 月までは、毎月店頭キャンペーンを実施した。4 月以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、店舗から店頭活動休止の要請があり、2020 年 9 月現在も休止中。

担 当：事務局チーム、事務局

評 価：ボラみみのボックスを置いているマックスバリュ太閤店、mozo ワンダーシティ店の 2 店舗合わせて 89,400 円の寄付をいただいた。※マックスバリュ太閤店の 2020 年上期（2020 年 4 月～8 月）分は寄贈額の通知が来ていないため、次年度報告する。

## 5 事業の実施に関する事項

理念、社会的役割を実現するため、以下の事業を実施した。

### (1) ボランティア情報提供のための情報誌の編集および発行事業（定款第 5 条第 1 号）

#### ①ボランティア情報誌『ボラみみ』編集・発行・配布（16 ページ）（自主事業）

#### ②なごや市民活動通信を合冊として編集・発行・配布（4 ページ）（委託事業）

事 業 名：市民活動情報誌編集・合冊発行業務委託

対 象：ボランティアをしたい読者、ボランティア活動を促進する機関・組織など

実施内容：ボランティア団体および個人からボランティア募集情報や市民活動に関するイベント情報を収集し、無料の情報誌を発行した。2020 年 4 月号までは B5・モノクロで毎月 10000 部、2020 年 5 月号からは B5・フルカラーで奇数月に毎号 10000 部発行。16 ページ（ボラみみ）+4 ページ（なごや市民活動通信）。

実施時期：2019 年 10 月 1 日～2020 年 9 月 30 日の間に 9 号発行

対象地域：名古屋市を中心とした愛知県下のスーパーや学校、公共機関など、約 700 箇所に配布（前年度実績 730 箇所）

担 当：編集チーム、事務局チーム、配達ボランティア、会員担当ボランティア、みみラインシステム担当、事務局

評 価：ボランティア情報 146 件（前年度実績 220 件）

2020 年 3 月頃から、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、「みみライン」に寄せられる情報が激減し、それに伴い誌面のボランティア情報掲載ページを減らした。その都度、編集チームメンバーで相談し、特別企画などを掲載してきた。また、今期から「となりの SDGs」「カッテに社会派！映写室」「あなたの街のボラスポ紹介！」などの新連載を始めた。現在、編集チームを中心に『ボラみみ』の冊子全体のコンセプトの見直しを進めている。





号数	特集・連載記事内容	ボランティア情報
10月号	特集「犬と二人三脚で、笑顔の輪を広げて」リトルスマイル 連載「Go! Go! ボランティア」第28回 キンゴ・バアが行く! 連載「第55回 企業の社会貢献活動の現場から」番外編 CSR/SDGs 連載「あなたの街のボラスポ紹介！」一宮市市民活動支援センター	20件
11月号	連載「となりのSDGs」vol.1 おしえて! となりさん 連載「JICA ボランティア さくらの你好通信」最終回 『活動に生徒あり、今後に生徒あり』	20件
12月号	特集「雇用創出で強制売春と人身売買から人々を救う」特定非営利活動法人 ゴスペルエイド 連載「Go! Go! ボランティア」第29回 クレイジーマイクが行く! 連載「第56回 企業の社会貢献活動の現場から」有限会社ジャパン・ケミカル・インダストリー 連載「あなたの街のボラスポ紹介！」知多市市民活動センター 特集「一緒にボランティアに出かけよう! ~始めればつながる新たな出会い~」 愛知みずほ大学 ボランティア部	18件
1・2月号	合併号特別企画「決定!! 第6回 ボラみみアワード」 連載「カッテに社会派! 映写室」vol.1 素晴らしき哉、人生! 連載「となりのSDGs」vol.2 目標1: 貧困をなくそう	18件
3月号	災地復興応援特集① 「『ひとりじゃない』と思える機会を作り続ける」認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 浦野 愛 「必要な物資を届け、笑顔が生まれる支援を」インディアン吉田 連載「カッテに社会派! 映写室」vol.2 華氏 451 連載「となりのSDGs」vol.3 目標2: 飢餓をゼロに	20件
4月号	被災地復興応援特集② 「さまざまな人・組織と関係を築き、独自の活動を展開」特定非営利活動法人 被災者応援愛知ボランティアセンター/東海高校教員 久田 光政 「令和元年8月九州北部豪雨災害ボランティア@佐賀県大町町」大久保 雄登被 連載「Go! Go! ボランティア」第30回 ちよが行く! 連載「となりのSDGs」vol.4 目標3: すべての人に健康と福祉を 連載「第57回 企業の社会貢献活動の現場から」日本たばこ産業株式会社 東海支社 連載「あなたの街のボラスポ紹介！」小牧市市民活動センター	14件
5・6月号	特集「笑顔の食事で地域がつながる」DoNabenet in あいち NPO 法人向け情報: 新型コロナウイルスの感染拡大に係る総会運営などについて 連載「カッテに社会派! 映写室」vol.3 日本沈没 連載「となりのSDGs」vol.5 目標4: 質の高い教育をみんなに 連載「第58回 企業の社会貢献活動の現場から」スギホールディングス株式会社 連載「あなたの街のボラスポ紹介！」あいち NPO 交流プラザ ボランティア入門	14件





7・8月号	特集「大変なときだからこそ、たくさんの人に笑顔届けたい」つしまこども食堂 特別企画「今、わたしたちにできること」 特集『ありがとう！』僕らのヒーローたち」社会福祉法人 ふれ愛名古屋 連載「となりのSDGs」vol.6 目標 5: ジェンダー平等を実現しよう 連載「第 59 回 企業の社会貢献活動の現場から」クラシエホームプロダクツ販売株式会社 連載「あなたの街のボラスポ紹介！」りぶら市民活動センター	8件
9・10月号	特集「ようこそ、みみよりライブラリーへ。」 連載「Go! Go! ボランティア」第 31 回 Miya が行く！ 連載「カッテに社会派！映写室」vol.4 ブラックパンサー 連載「となりのSDGs」vol.7 目標 6: 安全な水とトイレを世界中に 連載「第 60 回 企業の社会貢献活動の現場から」敷島製パン株式会社 連載「あなたの街のボラスポ紹介！」刈谷市民ボランティア活動センター	14件

## (2) ボランティア情報提供のためのホームページの編集および運営事業（定款第 5 条第 2 号）

### ① 「みみライン」の運営（自主事業）

対 象：愛知県、岐阜県、三重県のボランティアに関心のある市民

実施内容：Web サイトにおいて収集したボランティア情報・イベント情報の内容を確認のうえ、公開した。また、「みみライン」に登録した個人のボランティア希望者、個別にボランティア・イベント情報を配信した。SNS やメール・FAX など、新規情報の投稿を呼びかけた。

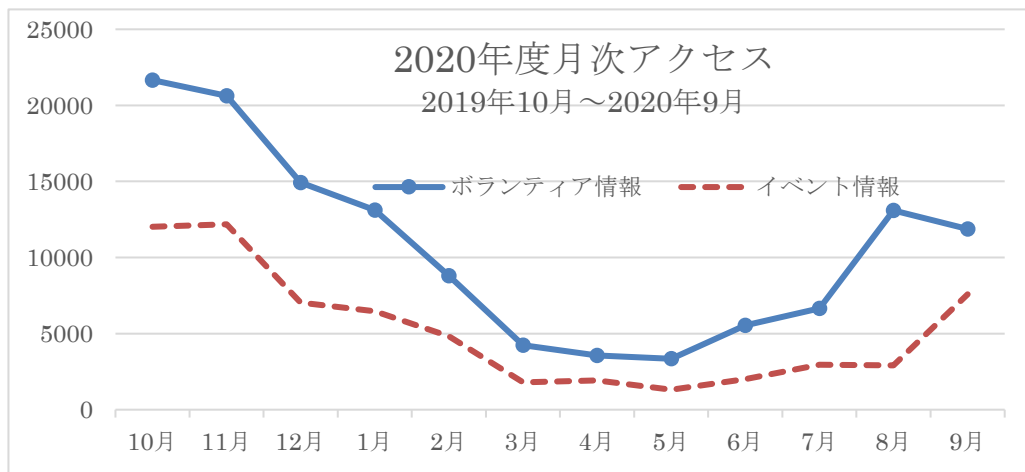
実施時期：随時

担 当：みみラインシステム担当ボランティア、事務局チーム、事務局

評 価：情報アクセス年間 190,425 件（前年度実績 251,519 件）

個人登録 延べ 4,114 件（昨年 4,056 件）

目標としていたアクセス件数の 200,000 件を超えることはできなかった。例年冬にアクセスが下がった後に、3 月から 7 月までアクセス数は右上がりになるが、新型コロナウイルスの影響もあり春・夏は激減、ボランティア情報は 8 月、イベントは 9 月になって少し増えてきた。





### ③「みみライン」協働運営のためのシステム提供（自主事業）

対 象：名古屋市と 16 区の社会福祉協議会、名古屋市子育て支援課

実施内容：「みみライン」システムの提供

実施時期：2019 年 4 月～2020 年 4 月、2020 年 4 月～2021 年 3 月

担 当：みみラインシステム担当、事務局

評 価：18 組織に対しシステムを提供したが、目標の 20 組織には増えなかった。

### (3) ボランティアに関する調査研究および公開事業（定款第 5 条第 3 号）

#### ①なごやのボランティア史（仮称）編纂事業（自主事業）

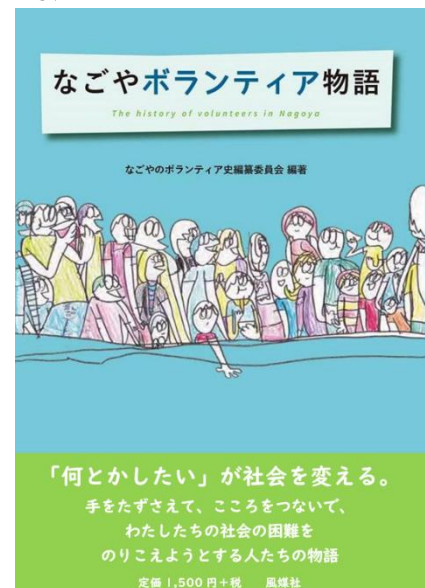
対 象：名古屋を中心として地域で活動しているボランティア

実施内容：団体の取材・執筆し終わった原稿の全体的な統一を図るため原稿を編集した。資料編に掲載する資料をとりまとめ、説明文章を執筆した。また、編纂委員会は 8 回開催し、会議の記録を作成した。

実施時期：2019 年 5 月～2020 年 5 月

担 当：編纂委員会（事務局、名古屋市社会福祉協議会、学識経験者、編集経験者、ボランティア実践者）

評 価：2020 年 5 月に出版することができた。ボラみみが販売するノルマの 800 冊は、編纂委員やボランティアスタッフの協力があり 1 カ月で達成することができた。



#### ②アンケート調査および、アクセス解析（自主事業）

対 象：ボランティア情報掲載団体／ボラみみ読者

実施内容：①「みみライン」のアンケートフォームによる調査・分析

②「ボラみみ」掲載団体へボランティア参加状況のアンケート調査・分析

③「みみライン」のアクセス数や利用状況の調査・分析

実施時期：①随時 ②2020 年 5 月までは毎月、2020 年 7 月以降は隔月 ③毎日、毎週、毎月

担 当：事務局チーム、みみラインシステム担当、事務局

アンケートの回答状況

・アンケート回答総数件 206 件（回答率：44.9%）

・問合わせ 問合わせあり 97 件（合計 263 名）

問合わせなし 89 件

わからない 20 件

・参加 参加あり 70 件（合計人数 219 名）

参加なし 108 件

わからない 28 件





<内訳>

●web（みみライン）にのみ掲載した情報のアンケートによる参加状況（イベント含む）

- ・アンケート回答件数 109 件
- ・問合わせ
  - 問合わせあり 31 件（合計 80 名）
  - 問合わせなし 61 件
  - わからない 17 件
- ・参加
  - 参加あり 23 件（合計 77 名）
  - 参加なし 66 件
  - わからない 20 件

回答があった団体のうち、問合わせがあった団体は 27.5%。参加があったのは 21.1%。

●誌面掲載情報のボランティア参加状況（2019 年 8 月号～2020 年 7・8 月号）

※誌面掲載団体へのアンケートは、掲載から約 1 ヶ月後に FAX やメールで調査している。

ここでは、2019 年 8 月号から 2020 年 7・8 月号（2020 年 9 月中に回答があったもの）までを集計した。

アンケート回答後に参加があった場合は、統計に反映されない。

- ・アンケート回答件数 97 件（2019 年 8 月号の回答のうち 3 件は 2019 年 9 月に回答あり）
- ・アンケート回収率 56.4%（前年度 59.2%）
- ・問合わせ
  - 問合わせあり 66 件（合計 183 名）
  - 問合わせなし 28 件
  - わからない 3 件
- ・参加
  - 参加あり 47 件（合計 142 名）
  - 参加なし 42 件
  - わからない 8 件

回答があった団体のうち 68%の団体に問合わせがあり、48.5%の団体に参加があった。

2020 年 4 月号以降は誌面発行後に中止になった活動も多く、問合わせがあったものの、参加につながらなかったケースも多い。

	2019					2020						
	掲載号	8月号	9月号	10月号	11月号	12月号	1・2月号	3月号	4月号	5・6月号		7・8月号
掲載情報数	20	20	20	20	18	18	20	14	14	8	172	
アンケート回答数	12	9	12	12	7	7	13	10	12	3	97	
問合わせがあった団体	10	6	7	8	6	6	7	5	8	3	66	
問合わせ件数	34	23	21	30	12	13	16	7	15	12	183	
内訳	誌面から	15	8	5	10	6	4	5	3	2	0	58
	ウェブから	7	5	15	10	4	8	5	3	8	4	69
	不明	12	10	1	10	2	1	6	1	5	8	56
参加があった団体	10	5	7	9	3	4	5	3	0	1	47	
参加人数	26	16	9	38	6	21	19	3	0	4	142	





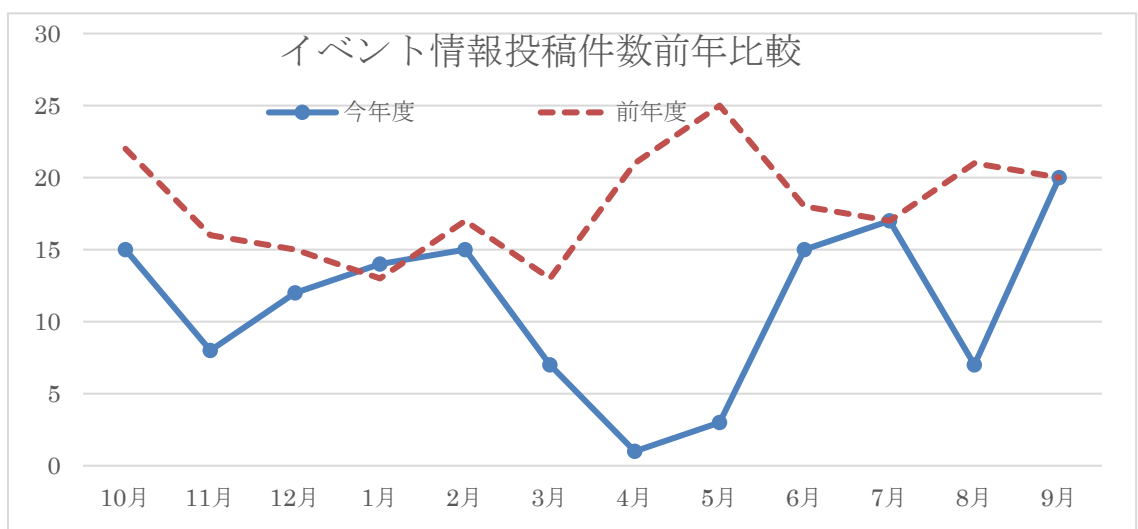
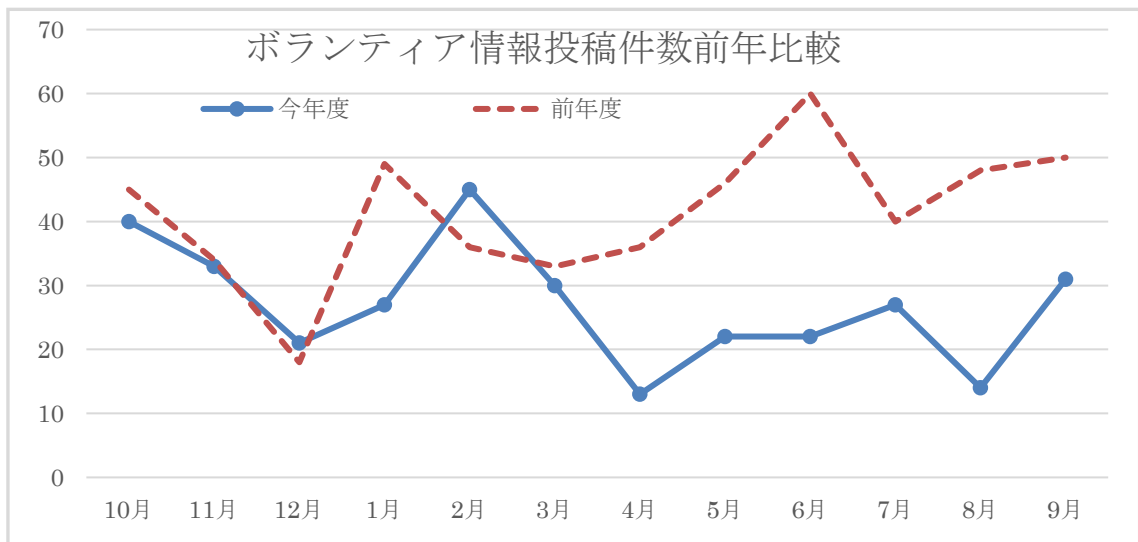
評価：「みみライン」のみの掲載よりも『ボラみみ』誌面に掲載したほうが、問合せ人数も参加者数も多いことが、アンケート結果から分かる。「ボラみみ以外の参加のきっかけ」を尋ねると「なし」が一番多く、次いで「自団体のホームページ」、「知人・友人」という回答であった。

### ●「みみライン」利用状況（2019年10月1日～2020年9月30日）

ボランティア情報投稿数	325 件／年（前年度実績 495 件）
ボランティア情報アクセス数	127, 432 件／年（前年度実績 172, 987 件）
イベント情報投稿数	134 件／年（前年度実績 218 件）
イベント情報アクセス数	62, 993 件／年（前年度実績 78, 532 件）

### ●月別の情報投稿件数の前年比較

新型コロナウイルスの影響で、大きく減少している。

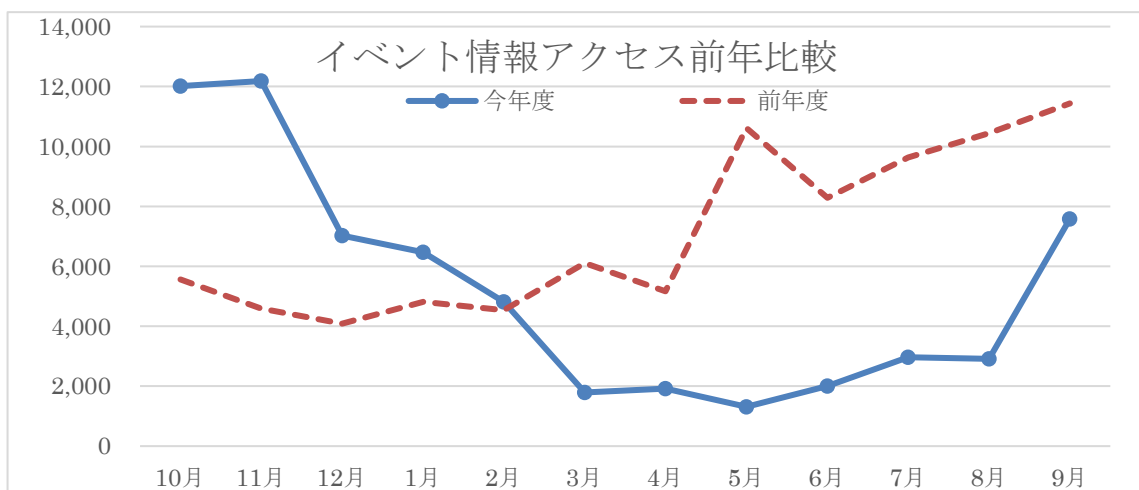
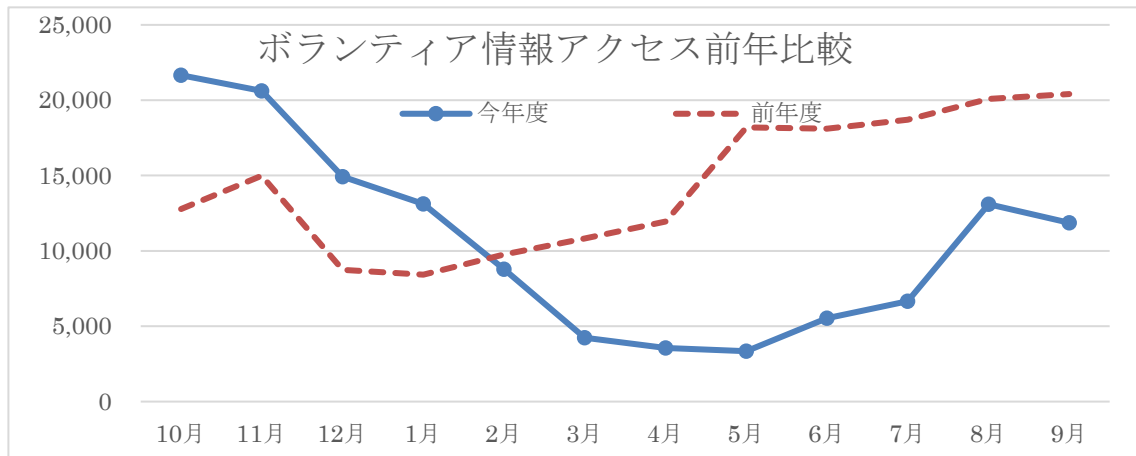






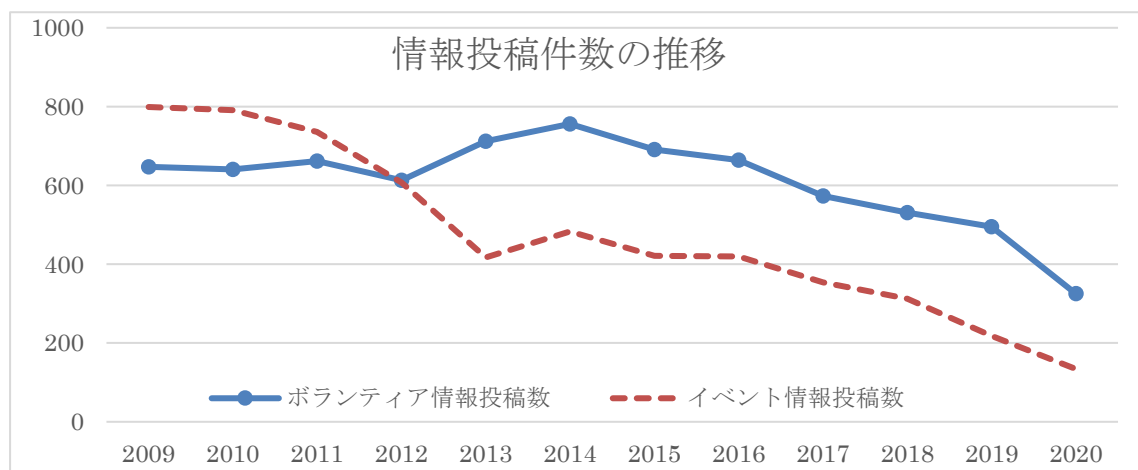
### ●みみライン情報アクセス件数の前年比較

新型コロナウイルスの影響で、3月から大きく減少した。ボランティア情報は8月から増え、イベント情報では9月から増え始めた。



### ●情報投稿件数の推移

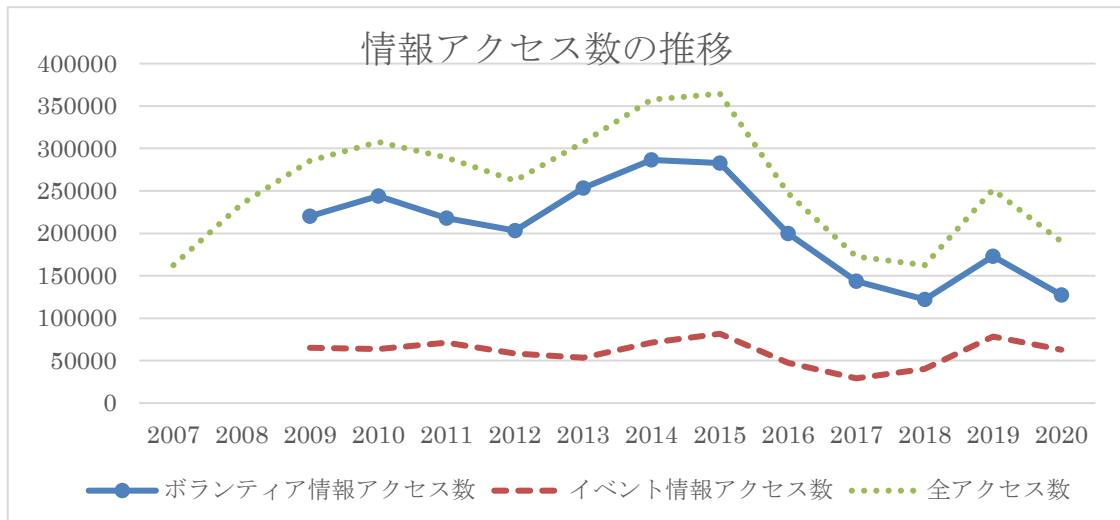
情報投稿件数の推移ボランティア情報の投稿件数は、2014年をピークに減少してきた。イベント情報については2009年以降減少傾向であったが、2020年は新型コロナウイルスの影響で、さらに減少傾向となった。





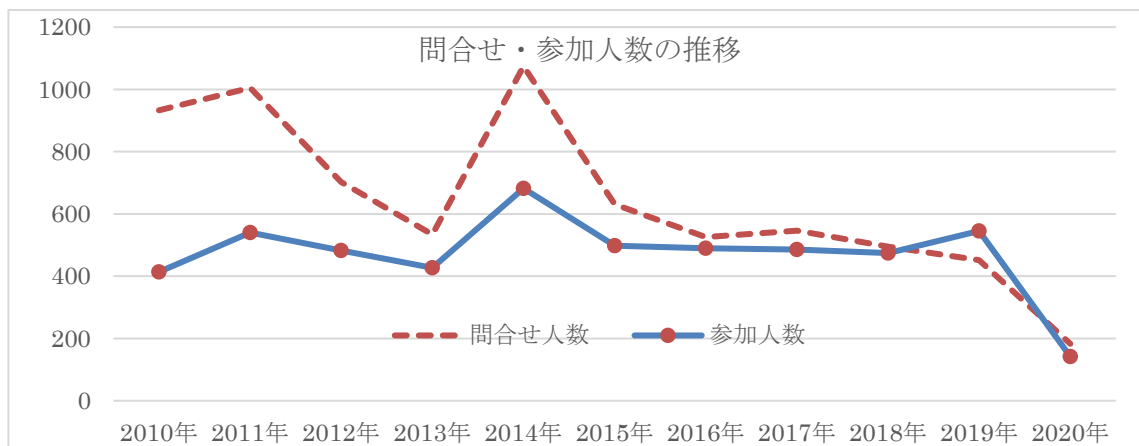
### ●みみラインへのアクセス数の推移

ボランティア情報とイベント情報へのアクセスの件数は、2015 年をピークに急激に減少し、2019 年度には増加に転じたが、2020 年は新型コロナウイルスの影響で、大きく減少した。



### ●ボランティア問合わせ人数と参加者数の推移

2015 年からボランティア情報の投稿件数やボランティア情報へのアクセス件数は減少しているものの、2019 年までは問合わせ件数やボランティアの参加人数に大きな変動はなかった。しかし、2020 年は新型コロナウイルスの影響で、問合わせも参加者数も大きく減少した。



### ③大学・企業連携促進事業（委託事業）

対 象：NPO、大学、企業

実施内容：愛知県内の NPO、大学、企業に対して NPO と大学・企業連携・協働の実態調査を行い、連携・協働ニーズや先進事例を報告書にまとめて、愛知県内の市町村に提供する。

実施時期：2020 年 5 月～2021 年 3 月

担 当：事務局【協働団体】ボランタリーネイバーズ、地域福祉サポートちた

評 価：事業実施中のため、来年度に報告する。





(4) 収集したボランティア情報の公開および提供事業（定款第 5 条第 4 号）

① ボランティア・イベント情報の提供および情報管理事業（自主事業）

対 象：企業の社会貢献担当部署

実施内容：広くボランティア・イベント情報を提供していくことを目的に、収集したボランティア活動・NPO 活動に関する情報を、トヨタグループ 9 社で運営するスマイルゆうネットへ提供した。また、スマイルゆうネットに投稿される情報の管理業務を行った。

実施時期：2019 年 10 月～2020 年 3 月、2020 年 4 月～2020 年 9 月

担 当：事務局

評 価：スマイルゆうネットでは、1,161 件のボランティアやイベント情報を管理したが、昨年 1,676 件から大幅に減少した。ボラみみからは 139 件のボランティア情報・イベント情報を提供し、2019 年 10 月～2020 年 9 月の期間で 115 名の申し込みがあった。前年度の同期間の名から増加したが、新型コロナウイルスの影響で申し込みがあったものの中止になった情報への応募人数は 20 名だった。また、定員に達したため参加できなかった応募者も 2 名いた。

期間	企業名	内容
2019 年 10 月～2020 年 9 月	トヨタグループ 9 社	スマイルゆうネットへの情報提供及び、ボランティア情報・イベント情報の管理

(5) ボランティア活動の普及啓発事業（定款第 5 条第 5 号）

① 講師派遣（自主事業）

対 象：愛知県、岐阜県、三重県民

実施内容：ボランティア・NPO 活動の普及啓発を目的に、ボランティア市民活動に関する講師の派遣を実施した。

実施時期：2019 年 10 月～2020 年 9 月

担 当：事務局

派遣日	講座テーマ	派遣先
2019 年 11 月 7 日(木)	地域の支えあい活動 実践 広報講座「広報力を高める」	名古屋市社会福祉協議会
11 月 9 日(土)	広報による効果的な人集め「チラシづくりのポイント」	稲沢市社会福祉協議会
11 月 14 日(木)	つなぎの学び舎・基礎編「情報を相手の心に伝える力」	ボランタリーネイバーズ
11 月 15 日(金)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」(豊橋市)	愛知県社会福祉協議会
11 月 28 日(木)	地域共生社会研修	愛知社会福祉協議会
12 月 1 日(日)	次世代の NGO を育てる、コミュニティカレッジ(N たま)「実践する活動は賛同を得られるか？」	名古屋 NGO センター





12月10日(火)	尾張東部社会福祉協議会連絡会事務担当者研修会「ボランティアの変化を取り巻く時代のコーディネート」	尾張東部社会福祉協議会連絡会
12月11日(水)	なるほど学集会「NPO 法人車座交流」 社会の変化とこれからの NPO	瀬戸市市民活動支援センター
12月13日(金)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」 (岡崎市)	愛知県社会福祉協議会
12月18日(水)	ボランティア体験講座 参加団体交流会	日進にぎわい交流館
2020年1月9日(木)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」 (東海市)	愛知県社会福祉協議会
1月22日(水)	天白区コミュニティ交流会「地域のつながり 作りたい～地域広報の役割～」	天白区役所
1月30日(木)	あいちシルバーカレッジ「NPOとボランティア」 (名古屋市B)	愛知県社会福祉協議会
2月8日(土)	次世代のNGOを育てる、コミュニティカレッジ(Nたま)修了式	名古屋NGOセンター
2月18日(火)	既存の担い手スキルアップ研修③「どうしたらつたわるの？活動をもっと知ってもらうための秘訣を学ぼう！～社会変化の中で新たな担い手を見つける～」	東浦町社会福祉協議会
2月21日(金)	今後の「NPO活動」と「自助・共助・公助」	労働者福祉協議会
6月25日(木)	東大手サロン【第50回】『なごやボランティア物語』ができるまで(オンライン)	東大手の会
7月2日(木)	ソーシャルウーマンプロジェクトA「名古屋のボランティアの歴史」(オンライン&オンデマンド)	金城学院大学
7月9日(木)	ボランティアコーディネーター養成講座「情報の収集・整理・提供」	愛知県社会福祉協議会
7月9日(木)	ソーシャルウーマン総論(オンデマンド事前録画)	金城学院大学
7月13日(月)	地域文化1(日本)「障害者とボランティア」	愛知淑徳大学
7月20日(月)	地域文化1(日本)「高齢者とボランティア」	愛知淑徳大学
7月27日(月)	地域文化1(日本)「子どもとボランティア」	愛知淑徳大学
7月31日(金)	NPO派遣研修「NPO(市民活動団体)とは」(オンデマンド事前収録)	名古屋市人材育成コンプライアンス推進室

評価：講師派遣回数は24回で、前年度の実績14回から増加したが、新型コロナウイルスの影響で、毎年依頼のある2020年度のシルバーカレッジやNたまなどは中止で、依頼のあった講師派遣もいくつか延期となった。

## ②ボランティア促進(委託事業)

事業名：事業名未定

テーマ：ボランティア活動の促進

対象：名古屋市内在住・在学・在勤の学生・社会人  
(働いている人、主婦・主夫、退職者など)





実施内容：ボランティア促進キャンペーンを夏から秋にかけて実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。代わりに新型コロナウイルスの影響下で多くのボランティア活動が自粛される中であって、工夫をしながら活動してきた団体を調査し、コロナ禍で活動を続けるための参考冊子「コロナに負けない ボランティア・市民活動の取り組み」を発行予定。この事業を進めるボランティア活動の促進協議会議は、zoom を使って行った。

実施時期：2019年10月～2020年3月

2020年4月～2020年9月

【協働会議参加団体】 愛知大学 ボランティアセンター、愛知学院大学 地域連携センター、愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター、株式会社デンソー、同朋大学 DVN みらい、特定非営利活動法人名古屋 NGO センター、名古屋学院大学 社会連携センター、名古屋市、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア、名古屋市立大学 学生課、日本福祉大学 地域連携推進室、ボラみみより情報局、名城大学 ボランティア協議会

担 当：事務局

評 価：2020年度の前半では、キャンペーン企画の実施に向けて話し合い、準備してきたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止を決定した。コロナ禍で協働会議構成員や構成員の関係のある団体が、どう過ごしていたのかヒアリングを行うことができたが、事業途中のため評価は来年度に行う。

### ③協働会議の実施（委託事業）

事業名：協働コーディネート等業務委託

テーマ：ボランティア活動の促進

対象：名古屋市内でボランティア活動の促進に取り組むさまざまな団体  
(行政、NPO、大学、企業など)

実施内容：次年度のボランティア促進イベントをボランティアマッチングイベント「ぼらマッチ！なごや」から、ボランティアマッチング促進キャンペーンに変え、実施していく内容について話し合われた。時間をかけて話し合いをしてきたが、新型コロナウイルスの影響で、企画された内容の中止を決定した。

実施時期：打合せ：2019年10月9日（水）、11月13日（水）、12月5日（木）、  
2020年1月15日（水）、2月12日（水）、3月13日（金）

協働会議：2019年10月11日（金）、12月20日（金）、

2020年1月29日（水）、2月27日（木）、3月26日（木）

【協議会議参加団体】愛知大学ボランティアセンター、愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター、株式会社デンソー、同朋大学 DVN みらい、名城大学ボラ





ンティア協議会、名古屋 NGO センター、名古屋市観光文化交流局国際交流課、名古屋市子ども青少年局青少年家庭課、名古屋市社会福祉協議会、名古屋市市民活動推進センター、名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア、ボラみみより情報局

評価：中止のため評価なし

④ボランティア・市民活動運営相談（委託事業・自主事業）

前期は、特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズと共同事業体をつくり、名古屋市の「NPO アドバイザー事業」の委託を受けて、団体の立ち上げ・NPO 法人設立・運営などにおける一般相談業務、セミナーを実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の講座1件と相談2コマを中止した。また、当日のキャンセルが5件あった。後期からは、ボランタリーネイバーズが名古屋市から受託を受けて、ボラみみからアドバイザーを派遣するに変更となり、相談14コマ、講座1件を派遣した。

事業名：NPO アドバイザー事業業務委託、NPO アドバイザー派遣

実施場所：名古屋市市民活動推進センター

対象：名古屋市で活動するNPO、企業、行政、個人

担当：アドバイザー、事務局

協働団体：特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ

実施時期：2019年5月～2020年3月、2020年5月～2021年3月

・相談実績

実施月	実施日	コマ数	相談数
2019年10月	3日(木)、11日(金)、18日(金)、23日(水)、29日(火)	12コマ	6件
11月	7日(木)、15日(金)、20日(水)、22日(金)、26日(火)、27日(水)	8コマ	6件
12月	3日(火)、13日(金)、20日(金)	12コマ	9件
2020年1月	23日(木)、29日(水)	4コマ	3件
2月	4日(火)、5日(水)、6日(木)、7日(金)、13日(木)、18日(火)、20日(木)、22日(土)、28日(金)	14コマ	11件
3月	3日(火)、18日(水)	4コマ 中止2コマ	1件
合計		54コマ	36件
派遣月	派遣日	コマ数	
5月	27日(水)、29日(金)	3コマ	3件
6月	12日(金)、19日(金)	2コマ	0件
7月	1日(水)、3日(金)、17日(金)	3コマ	3件
8月	7日(金)、20日(木)	2コマ	2件
9月	4日(金)、18日(金)、25日(金)	4コマ	2件
合計		14コマ	10件





また、2020年1月21日(火)にアドバイザー研究会を開催し、相談業務について情報交換とふりかえりを行った。

・講座実績

実施日	テーマ	参加者数
2019年10月29日(火)	想いと“財産”を引き継ぐNPO法人の“終活・継承”	8名
11月15日(金)	NPO法人になったら納める税金の種類と手続き	11名
2020年1月29日(水)	NPO法人の会計報告チェックポイント	11名
3月18日(水)	NPO法人の理事・監事の役割	中止
派遣日	テーマ	
2020年9月4日(金)	いまさら聞けないNPOの広報～伝えたい相手に届ける8つの大切なポイント～	9名

評価：2019年5月～2020年3月の稼働率(当日キャンセル除く)は69%で目標の90%を下回った。予約の1割が当日キャンセルとなったことも稼働率を下げた。ボラみみの相談枠では、相談者の予定に合わせて相談日時の変更に対応し、相談に当たった。2020年4月以降は、事業期間中のため2021年度にて評価報告する。

・アドバイザー業務

実施場所：一宮市市民活動支援センター

対象：一宮市で活動するNPO、企業、行政、個人

担当：事務局

実施月	実施日時
2019年10月	5日(土)15:00～20:00
11月	2日(土)15:00～20:00
12月	13日(金)15:00～20:00
2020年1月	11日(土)15:00～20:00
2月	1日(土)15:00～20:00
3月～5月	施設閉鎖のため中止
6月	13日(土)15:00～20:00
7月	4日(土)15:00～20:00、31日(金)15:00～20:00
9月	5日(土)15:00～20:00

評価：予約による相談は少ないものの、1件当たりの相談時間を長く取り丁寧に対応ができた。

・連携コーディネーター

派遣場所：学生共同活動拠点N-base(エヌ・ベース)

対象：学生





担 当：事務局

実施月	実施日時
2019年11月	20日(水) 18:00~20:00
2019年10月	23日(水) 施設の休館日の連絡ミスで実施できず
2020年1月	20日(木) 18:00~20:00

評 価：新型コロナウイルスの影響で、N-base 自体が休館していた時期もあり、2020年4月以降は実施していない。2020年10月より再開予定。

・名古屋市まちづくりアドバイザー

依頼がないため実施しなかった。

⑤名古屋市イーパーツリユース PC 寄贈プログラム (自主事業)

対 象：名古屋市で活動する市民活動団体

実施内容：名古屋市と認定 NPO 法人イーパーツ、ボラみみより情報局との協働により、名古屋市内で市民活動を行っている団体で、予算などの諸事情により情報化が思うように進まない団体を対象に「第8回」になるリユースパソコンを寄贈する事業を実施した。2020年9月に「伝わるチラシ！コンテスト Vol.5&第9回名古屋市イーパーツリユース寄贈プログラム公募説明会」を開催した。

実施時期：2019年6月～2019年12月（第8回）、2020年5月～2019年12月（第9回）

担 当：事務局

評 価：第8回リユース PC 寄贈プログラムでは、29 団体からパソコン 56 台の応募があり、選考の結果、24 団体にリユースパソコン 40 台を寄贈することができた。2020年1月に Windows7 のライセンスが切れるため、例年2月に行う寄贈式を2019年12月に早めて実施し、ライセンスが切れる前に Windows10 のリユース PC を寄贈することができた。12月の寄贈式では、情報セキュリティに関する注意喚起や著作権に関するミニ講座も実施し、パソコンを安全に有効活用してもらい、情報管理の意識を高めてもらうよう働きかけることができた。「伝わるチラシ！コンテスト Vol.5&第9回名古屋市イーパーツリユース寄贈プログラム公募説明会」は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン開催した。第9回は事業期間中のため次年度に評価報告する。

⑥イベントへのブース出展等 (自主事業)

対 象：ボランティアに関心のある市民

実施内容：企業や大学などが主催するイベントへブース出展し、ボラみみの広報、ボランティア相談、ボラみみのグッズ販売を実施した。

担 当：ボラみみ探検隊、事務局チーム、インターン、事務局







参加日	イベント名	主催	場所
2019年10月11日(金)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) マックスバリュ太閤店
11月2日(土)	ファーストキフ ファミリーサーカス	ファーストキフ ファミリーサーカス実行委員会	東別院ホール
11月11日(月)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
11月24日(日)	ファーストキフ リレーマラソン	ファーストキフ リレーマラソン実行委員会	庄内緑地公園
12月8日(日)	愛知淑徳大学 CCC コラボメッセ	愛知淑徳大学 CCC	愛知淑徳大学 星ヶ丘キャンパス
12月11日(水)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
2020年1月11日(土)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo) マックスバリュ太閤店
1月25日(土)	ファーストキフ シネマダイログ	名古屋市	名古屋市市民活動推進センター
1月26日(日)	ファーストキフ シネマダイログ	名古屋市	名古屋市市民活動推進センター
2月1日(土)	ファーストキフ・ポスターコンテスト	名古屋市	イオンモール新瑞橋店
2月11日(火・祝)	黄色いレシートキャンペーン	イオンリテール(株)	イオンワンダーシティ(mozo)
2月15日(土)	ファーストキフ・フェスタ	名古屋市	ナディアパーク デザインセンタービル 2階 アトリウム

評価：実施回数 14 回（前年度実績 25 回）

新型コロナウイルスの影響を受け、ほぼ毎月実施してきた黄色いレシートキャンペーンは、2020年4月以降実施できなくなった。また、毎年開催され、参加してきたイベントも軒並み中止となり、活動回数が大幅に減ってしまった。

イベントは活動PR、ボランティアスタッフや会員募集の機会であるため、参加できるものがあれば、積極的に参加していきたい。

### ⑦インターン受け入れ（自主事業）

対象：6名（前年度実績15名）行政からの受け入れを実施

実施内容：インターンには、愛知県内の団体情報をデータベースに保存する作業のほか、『ボラみみ』の編集や発送・配達、イベントでのPR活動などを体験してもらった。また、他団体と協働して実施している会議やプログラムにも、できるかぎり参加してもらった。今年度は大学生のインターンシップ希望者はいなかった。

担当：事務局





名称	期間	受入元	人数
2019年度名古屋市職員研修「NPO 派遣研修」	2019年10月	名古屋市	1名
令和元年度 採用2年目現場体験研修	2019年10月～12月	愛知県	5名
令和2年度 採用2年目現場体験研修	中止	愛知県	
令和2年度名古屋市職員研修「NPO 派遣研修」	中止	名古屋市	

評価：2019年度の愛知県職員の振り返りシートで以下のような感想があり、受入に意義があった。

- ・今回の研修において普段の業務から離れ、今まで関わったことのない業務、分野、人々、世界と関わることにより、日々自分の目の前の仕事を如何に効率よく進めるかということばかりに目が行き、組織がどうなっているのか、社会をどうしていくのか、といった広い視野を持つことができていなかったということに気づいた。NPO法人の在り方を知ることで、行政にはもっとやらなければいけないこと、もっと目を向けなければいけない問題があることを感じた。それと同時に、行政にはまだできることがあるという希望を感じる事ができた。日々の業務でも社会全体に目を向けようとし、自分の理想を抱えて業務を進められるよう心がけていきたい。
- ・日頃関わることのない方々とコミュニケーションをとることができたり、日頃携わることのない業務に触れることができ、大変刺激になった。特に、土曜日出勤は、通常業務との都合上なかなか難しくはあったが、NPOの総会や、意見交換会に参加させていただくなど、他の派遣者とは異なる貴重な経験ができたと思う。NPOとは何か、漠然としかわからない状態での4日間であったが、社会問題に大変な熱意をもって取り組まれている職員やボランティアの方々の姿は、非常に勉強になったし、自身の視野も広がったように思う。

### ⑧体験学習受け入れ

名古屋女子大中学校の1・2年生8名の受け入れを予定していたが、台風接近のため、中止となった。

### ⑨各種委員会への参加

対象：行政・社会福祉協議会

担当：事務局、理事

派遣日	委員会名	派遣先
2019年10月2日(水)	こどもの居場所づくり推進会議検討部会	愛知県社会福祉協議会
10月3日(木)	福祉教育・ボランティア学習のつどい	福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや実行委員会
11月5日(火)	なごやボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会





11月18日(月)	子どもの居場所づくり推進会議	愛知県社会福祉協議会
11月22日(金)	NPOと行政の協働に関する実務者会議	愛知県社会活動推進課
12月18日(水)	なごやボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会
2020年1月19日(日)	なごやボランティア楽集会開催	名古屋市社会福祉協議会
	なごやボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会
2月16日(日)	なごやボランティア楽集会開催	名古屋市社会福祉協議会
	なごやボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会
3月4日(水)	ボランティア活動・福祉教育推進部会	愛知県社会福祉協議会
3月10日(水)	愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会	愛知県社会福祉協議会
4月27日(月)	ボランティア楽集会開催委員会	オンライン
5月26日(火)	NPOおたがいさま会議	オンライン
6月2日(火)	NPOおたがいさま会議	オンライン
6月7日(日)	ボランティア楽集会開催委員会	オンライン
6月9日(火)	NPOおたがいさま会議	オンライン
7月7日(火)	NPOおたがいさま会議	オンライン
7月11日(土)	ボランティア楽集会開催委員会	オンライン
7月14日(火)	市民活動の推進にかかる懇談会	名古屋市市民活動推進センター
7月21日(火)	NPOおたがいさま会議	オンライン
7月28日(火)	市民活動の推進にかかる懇談会	名古屋市市民活動推進センター
	ボランティア活動・福祉教育推進部会	愛知県社会福祉協議会
8月1日(土)	なごやボランティア楽集会開催	名古屋市社会福祉協議会
8月4日(火)	NPOおたがいさま会議	オンライン
8月25日(火)	NPOおたがいさま会議	オンライン
8月29日(土)	なごやボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会／オンライン
9月19日(土)	なごやボランティア楽集会開催委員会	名古屋市社会福祉協議会

評価：委員会に参加することで、さまざまなNPOの活動や行政の動きについて、知る機会が増え、また情報交換を行える場となった。また、NPOセクターとして、社会的に有用で実効性のある意見を述べることができた。





(6) ボランティア情報の提供、ボランティア団体の広報などに関する支援事業（定款第5条第6号）

実施していない。

(7) 子どもの健全育成に関する支援、およびボランティア育成事業（定款第5条第7号）

実施していない。

(8) 災害救援に関する支援、およびボランティア育成事業（定款第5条第8号）

実施していない。

(9) 環境の保全に関する支援、およびボランティアの育成事業（定款第5条第9号）

①物資寄贈事業（みみちゃんお届け便）（自主事業）

対 象：市民活動団体

実施内容：企業などから事務用品や日用品、学用品などを提供いただき、それらの物資をボランティアスタッフの協力により仕分けし、物資リストを作成した。また、物資寄贈を行う中で、コロナ禍で団体の困りごとを調査して物資支援につなげていった。新型コロナウイルスの影響でマスクが不足していたが、トヨタグループ企業の従業員から、手作りマスクと不織布マスクを提供いただきコロナ禍で活動する団体へ寄贈した。コロナ禍で住む場所を失った人たちを支援する団体へは日用品を寄贈した。

寄贈時期	寄贈内容
2020年1月	日用品・事務用品・学用品 118品目 4,335個を24団体へ寄贈した。
3月	トイレトーパー48ロール入り20ケースを20団体へ寄贈した。
4月	日用品・事務用品・学用品 83品目 473個を20団体へ寄贈した。
4月	トイレトーパー48ケースを48団体へ寄贈した。
4月～5月	手作り布マスク約8,000枚、不織布マスク約25,000枚を109団体へ寄贈した。
5月	トイレトーパー25ケースを11団体へ寄贈した。
6月	洗剤2品目6個をコロナ禍でベトナム人を受け入れている徳林寺へ寄贈した。
9月	洗剤やトイレトーパーなどの日用品7品目49個をコロナ禍でシェルターを運営するNPOまなびや@KYUBANと徳林寺へ寄贈した。
9月	サーキュレーター1台を日本ボーイスカウト愛知連盟 名古屋異地区 名古屋第58団へ寄贈した。

実施時期：2019年10月～2020年9月

担 当：事務局、事務局チーム

物資提供：株式会社大塚商会、トヨタ自動車株式会社、株式会社デンソー、株式会社豊田自動織





機、トヨタ車体株式会社、トヨタ紡織株式会社、愛知県図書教材協会、ボラみみボランティアスタッフ

評 価：コロナ禍で大変な状況にある団体へたくさんの物資を寄贈することができた。寄贈事業の運営資金を出してくれる企業も一部あったが、物資寄贈事業は財政を圧迫しているため、今後の事業の見直しが必要。

**(10) 保健、医療又は福祉に関する支援、およびボランティアの育成事業（定款第5条第10号）**  
実施していない。

